

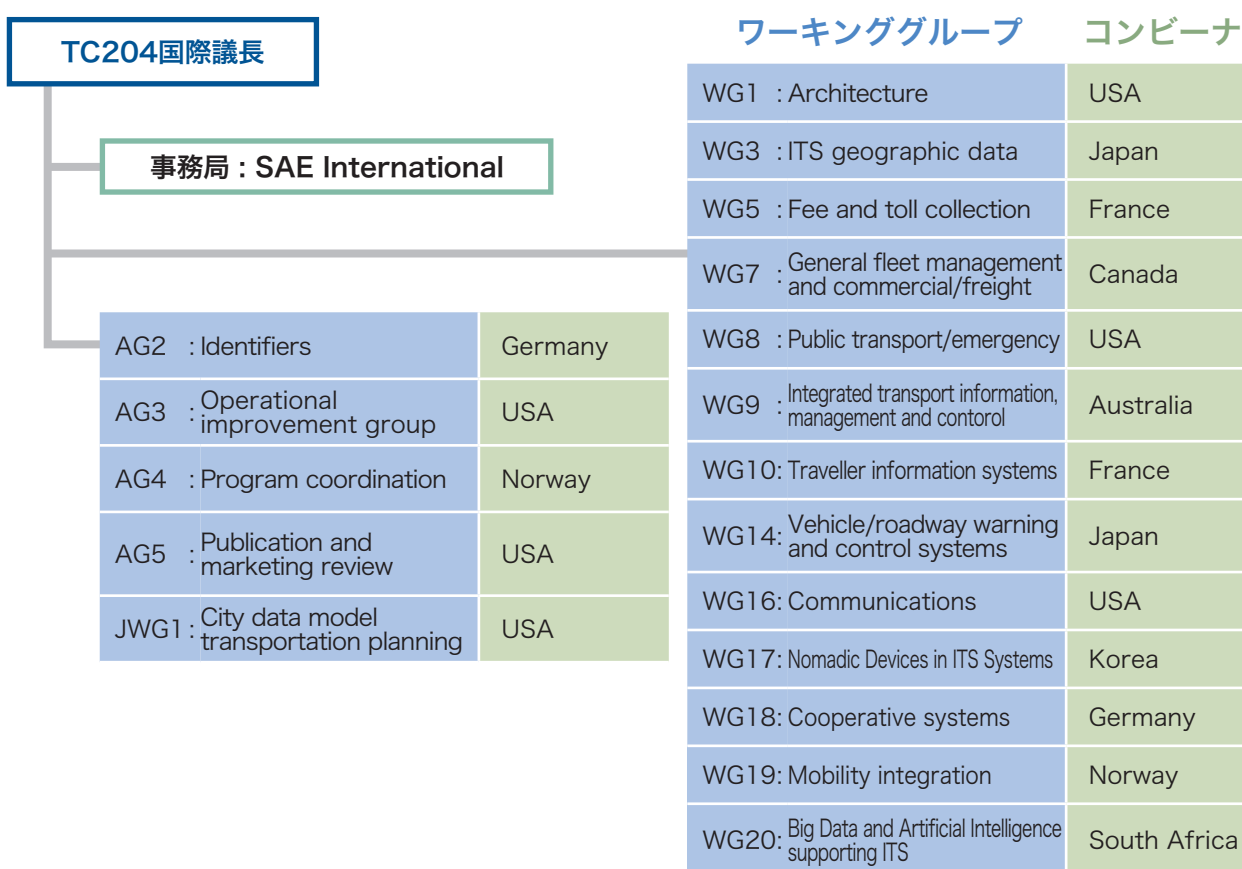
TC204委員会組織と日本の体制

● TC204委員会組織(国際)

TC204の議長・幹事国は設立以来アメリカが務めています。傘下には現在13のWGが活動している他、2023年にISO/IEC JTC1/WG11(スマートシティ)との間でJWG(ジョイントWG)を結成し、交通計画に関する都市データモデルの規格開発に着手しています。

また、TC204の標準開発の一層の加速を目的として、TC運営改善やビジネスプラン策定検討などを行うアドバイザリグループ(Advisory group: AG)が2021年に設置され、WG横断的に活動をレビューするなど取り組みが行われています。2023年には新たな議長が就任し、こうした取り組みの強化が企図されています。

TC204の組織



Pメンバー(32カ国) : 投票の義務があり作業に積極参加するとともに会議に参加する

オーストラリア、オーストリア、ベラルーシ、ベルギー、カナダ、中国、チェコ、フィンランド、フランス、ドイツ、ハンガリー、インド、イラン、イスラエル、イタリア、日本、カザフスタン、韓国、ルクセンブルク、マレーシア、オランダ、ニュージーランド、北マケドニア、ノルウェー、ポルトガル、ロシア、南アフリカ、スペイン、スウェーデン、スイス、イギリス、アメリカ

Oメンバー(29カ国) : オブザーバーとして業務をフォローし、コメントの提出と会議出席の権利がある

アルジェリア、ブルガリア、チリ、コロンビア、コンゴ、クロアチア、キューバ、キプロス、デンマーク、エジプト、エチオピア、ギリシャ、香港、インドネシア、アイルランド、メキシコ、モンゴル、モンテネグロ、パキスタン、フィリピン、ポーランド、ルーマニア、サウジアラビア、セルビア、シンガポール、スロバキア、タイ、トルコ、ウクライナ